

森林教育イノベーション調査補足資料

1：主要収集文献一覧

幼児：

- 浅井（2019）：お母ちゃん革命—日本一アツい多治見の森のようちえんの物語、ポプラ社
- 山本、平野、内田（2005）：幼児期に豊富な自然体験活動をした児童に関する研究、国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要第5号
- ミクリッツ（2018）：森のようちえん—ドイツに学ぶ森と自然が育む教育と実務の指南書、風鳴舎
- 森のようちえん全国ネットワーク連盟（2015）：平成26年度・27年度 公益社団法人国土緑化推進機構委託事業「森のようちえん」等の社会化に向けた調査等森のようちえん全国実態調査の集計および分析結果について
- 文部科学省（2017）：幼稚園教育要領

青少年：

- 環境省自然環境局（2003）：平成14年度中山間地域等における自然体験活動等を通じた地域活性化方策調査（自然体験活動受け入れ体制に関する調査）報告書
- 国立青少年教育振興機構（2010）：子どもの体験活動に関する実態に関する調査研究報告書
- 国立青少年教育振興機構（2014）：学校教育における『集団宿泊活動』の手引き—各教科等の関連を図る教育課程編成指導資料—
- 国立青少年教育振興機構（2019）：小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査報告書
- 国立青少年教育振興機構（2019）：青少年の体験活動等に関する意識調査（平成28年度調査）報告書
- スポーツ庁（2018）：運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン
- 農林水産政策研究所（2005）：山村留学の現状と課題—平成15年度全国アンケート調査報告書、ライフスタイルプロジェクト研究資料第4号
- 農林水産政策研究所（2015）：子供農山漁村宿泊体験の現状と課題—宿泊体験受入者の意向調査及び実態調査結果、農村活性化プロジェクト研究資料第6号
- 文部科学省（2017）：小学校学習指導要領（平成29年告示）
- 文部科学省（2017）：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説—総則編
- 文部科学省（2017）：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説—特別活動編
- 文部科学省（2017）：中学校学習指導要領（平成29年告示）
- 文部科学省（2017）：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説—総則編

- 文部科学省（2017）：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説―特別活動編
- 文部科学省（2018）：高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）
- 文部科学省（2018）：高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説―総則編
- 文部科学省（2018）：高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説―特別活動編
- 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（平成 28 年法律第 105 号）

その他：

- 安部、増田（2020、編）：ESD の地域創生力と自然学校―持続可能な地域を作る人を育てる、ナカニシヤ出版
- 国土緑化推進機構（2020）：令和元年度林野庁委託事業―「森林資源を活用した新たな山村活性化に向けた調査検討事業」報告書
- 「森林サービス産業」検討委員会（2019）：「森林サービス産業」検討委員会報告書―
- 「森林サービス産業」の創出に向けて～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～
- 辻（2011）：奇跡のむらの物語―1000 人の子どもが限界集落を救う！、農文協
- 日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育分科会（2008）：提言―学校教育を中心とした環境教育の充実に向けて
- 林野庁（2020）：森林環境譲与税の取組事例集

2：学校関係者に対するインタビュー結果

検討委員会での山下委員の以下のコメントを踏まえてインタビュー¹を実施した。

「森林環境教育の現状について、小学校から高校が提供するサービスとして、学校行事としての森林体験を捉えられているが、実際にはもう少し進んでおり、総合的な学習の時間や教科の中で森林について学んでいる。教室の中で学んだ内容と、実際の森林現場で学んだ内容とをいかにして結びつけていくのかということが、学校教育における今後の課題である。聞き取り調査の対象を小学校、中学校、高校の教員に広げ、「どのように森林環境教育を行おうと考えているのか」「なぜできないのか」について調査する必要がある。森林の重要性と同時に、森林環境教育を通して子どもたちが育むことのできる能力についてエビデンスを示し、教育課程の中でも森林環境教育が重要な役割を果たせることを普及すべき。（山下委員）」

① 実施している森林体験教育の内容

小学校	・地域の自然から学ぼうというテーマで小学校 5 年生を対象に総合的な学習枠を用いて 4 月から 11 月まで約半年間定期的に実施。小学校の裏にある里山で、里山にはどんなものがあるかというところから入って、森林の働きや、森林がなかったらどうなるのかについて考えさせた。 ・小金井市の小学生を対象に、清里にある小金井市の森林施設で、間伐や植生調査など生徒自身が決めたテーマに沿って活動させている。
中学校	・資源エネルギー庁のエネルギー教育モデル校として、エネルギー学習の一環として山と湖と暮らしを結びつける形で総合学習を実施。1 日の実習で学んできたことを発表、共有、討論。エネルギー教育、地域教育、森林教育、総合学習以前の常識的なところも盛り込んだ多面性を持った学習を行った ・中学 1 年生から 3 年生まで技術科の学習枠で森林に関わる講義を実施。 ・学校の総合的な学習の時間枠は制約が多いため、森林 NPO を立ち上げて活動している、参加する中学生は毎月 1～2 回山に行って自ら気づいた課題の解決を大人がサポート。
高校	SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に呼ばれて行って、実際に生徒に森で測量をさせたり植生調査の体験をさせる指導も行っている。

②森林体験教育で期待される教育効果

チームワーク	今の子はお互いの動きを見て今自分が何をしなきゃいけないんだろう、次の仕事をするにはこれに手を出しとかなきゃいけないと
--------	--

¹ 公立小学校 1 人、公立中学校 1 人、私立中学校 1 人、農林高校（元職）1 人に対して聞き取りを実施した。

	いった見通しを持ったり、察し合って互いに手助けしたりということができない。自ら課題を探し解決を図る森林体験で、このような能力を養える。
自己肯定感、自尊感情	自己肯定感とか自尊感情は中学生ぐらいで下がるのが通常だが、森林体験をするとそれが上がる。自分の心の芯みたいなのをしっかり持つことができるのが森林体験の強みである。
社会で起こっていることをもとに考える経験	入試のためではなく、社会で起こっている問題について考える経験。森が持っている機能やそこから起因してくるさまざまな問題について体験・認識させることは重要。

③企画・実施面での課題

森林体験教育を実現する上で重要なのは時間（授業枠）の確保、学校が里山に近いという立地、活動費用の3つ。

時間	・ 総合的な学習でないと時間が取れない。特に小学校では英語やプログラミングも総合的な学習で実施されるため、他のことに時間を割けないというのが現状。 ・ 学校現場では新しいことをやることへの抵抗が強く、多忙な中新しい企画を通すには相当なエネルギーを要する。 ・ 「〇〇教育」全盛の中、「森林体験教育」が埋没する傾向。いろんな体験教育を組み合わせ、その中に「森林体験」を含めるなどの工夫が必要。 ・ 中学校以上では、部活動が過大な負荷となっており、子どもたちが自ら判断し行動するための時間を奪っている。
立地	移動時間と移動費用の問題から、教科学習を森で実施する場合は、森が学校に隣接しているぐらいでないと難しい。森林地域にある、もしくは里山に隣接した学校の場合、森林を取り上げる必然性も増して有利になる。
活動費用	移動や安全確保などの費用が必要だが、予算がない、考慮されていないことが多い。関越道でのバス事故以降バス代が高くなっている

制約はありつつも、以下のような工夫で森林体験教育を実施している例はある。

小学校	学年単位で動く中学校以上とは違い、小学校は学級単位で動くことが可能。自己裁量でやれる環境があれば自由度は高い。小学校の先生が自分のクラスで森林教育を実施したという事例は多くある。 福島県では市街地の学校も念頭に置き、木一本からできる体験型教科教育の授業案の提案を準備している。管理職からの承認取り付けなど実施に伴う現
-----	--

	場教師の負担を軽減するため、校長会や教育委員会を巻き込んだ取り組みを進めている。
中学校	中学校以降は授業時間がタイトなので放課後の森林体験がやりやすい。放課後や週末にやりたい子が森林での活動を行う。既存の部活の枠組みを使って「森林部」などを立ち上げるのも一案。
高校	高校の魅力化という流れで、普通高校であっても地域ごとに特色ある授業が導入されるようになってきている。地域の森林・林業を学ぼうという機運のある地域では森林体験学習も可能。また SSH（スーパーサイエンスハイスクール）などはカリキュラム編成が比較的柔軟に行えるため、森林体験を取り入れているところもある。農林高校ではカリキュラムの中に地域課題解決型のプログラムがある。
部活動（大学附属の私立中学校の例）	大学に「エキスプレイグラウンド」という新しい組織ができ、やりたいことをやれない講師や教員が集まって本当にやりたいことをやれる環境ができた。木工のサークルでは最新鋭の機材が専門家の指導の下利用できる。学生が木材加工ではなく森林の管理と利用という社会課題の解決に集中できる状況が生まれている。